

おおむた 市議会だより

第224号

令和4年度
2月・3月議会

令和5年(2023年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



上内小学校(上)・玉川小学校(下)
入学式(令和5年4月11日)



【主な記事】

- ◎新年度予算 多種多様な議論・要望／ぎかいの話題(2ページ)
- ◎議会研修会・全員協議会を開催しました／ぎかいの話題・トピックス(3ページ)
- ◎新任地域おこし協力隊の紹介／おおむた自慢(12ページ)

お知らせ

市議会議員選挙が行われ、5月2日より大牟田市議会は新たな体制となります。
新体制については、次号でお知らせします。

ぎかいの話題

新年度予算 多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長:中原誠悟、副委員長:平嶋慶二)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月13日から20日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、防災対策、庁舎整備、地域おこし協力隊、ごみ減量、放課後児童健全育成事業、病児・病後児保育事業、不登校、動物園に関する事など、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月24日の本会議において全ての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和5年度における各会計の予算は以下のとおりで、一般会計予算の総額は611億2,000万円となりました。

令和5年度各会計予算の概要(1万円未満四捨五入)

区 分		予 算 額	対前年度当初比
一般会計		611億2,000万円	2.0%
特 別 会 計	国民健康保険	143億1,172万円	△0.2%
	介護保険	134億5,778万円	0.7%
	後期高齢者医療	22億3,496万円	5.1%
	病院事業債管理	12億1,222万円	32.1%
	水道事業	※1 38億7,621万円	△8.5%
	公共下水道事業	※2 77億1,096万円	5.9%

※1 収益的支出 25億1,709万円
資本的支出 13億5,912万円

※2 収益的支出 37億1,281万円
資本的支出 39億9,815万円

予算特別委員会の主な意見・要望

◆災害対策本部機能強化事業

防災リアルタイム情報の改修により外国語表記や絵文字などの分かりやすいものを使用するとともに、外国人向けの研修や避難訓練なども行いながら、取組を推進してほしい。

◆職員の健康

メンタルヘルスを含めた長期療養者も多く見られることから、十分な対策とフォロー体制の充実強化を図るとともに、職員配置適正化方針においても職員の心身の健康に配慮してほしい。

◆歯科疾患予防

幼少期からフッ化物洗口に取り組むことにより、健康で強い歯づくりや将来の医療費の抑制につながることから、歯科医師会や教育委員会と連携し、周知を行うとともに、学校での実践も検討してほしい。

◆動物園

キリン舎等の増設といった施設整備だけではなく、タヌキ等の野性動物、乳牛・豚等の家畜の飼育や園内への遊覧馬車の導入など、体験ふれあい型・教育型の動物園を目指してほしい。

◆病児・病後児保育事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、現在の委託先だけでは多様なニーズに応えきれないことから、早急なニーズ調査を行い、施設の増設を検討してほしい。

◆夏休み児童預かりモデル事業

待機児童ゼロを目指す一連の取組として、モデル事業によって見えた課題を整理し、全校区での実施が可能となるよう努めてほしい。

ぎかいの話題・トピックス

◆教職員の教育環境

多忙な環境が児童生徒の不登校の要因となることも考えられることから、教職員が授業準備や子供と向き合う時間が確保でき、子供が元気に登校できる楽しい学校となるよう、改善に努めてほしい。

◆スクールカウンセラー

不登校やいじめの抑制につながるものであり、相談時間が圧倒的に不足している現状を踏まえ、市独自の配置も含めて強化してほしい。

◆地域おこし協力隊

過去の事例を総括し、また他市の事例も参考にしながら積極的に活用してほしい。

◆職員の定員管理

業務量が増大しているにもかかわらず、職員を減らし続けたことで時間外勤務が常態化しており、職員の疲弊が著しいことから、職員の配置を増やすよう努めてほしい。

◆学校図書

良書に親しめる環境整備を継続してほしい。また、今後の環境整備に当たっては、タブレット端末を活用した電子書籍の導入などICT活用に関する調査研究を進めてほしい。

◆臼井町地区の水路やポンプ施設

令和2年7月豪雨を超える規模の豪雨も今後考えられることから、より高い排水能力を持つ設備を整備してほしい。

◆後期高齢者医療保険料

負担が重すぎるため、剰余金や運営安定化基金等を活用した負担軽減を福岡県後期高齢者医療広域連合に働きかけてほしい。また、広域連合への県負担金の増額を県に要望してほしい。

◆ごみの減量の推進

市民の協力だけではなく、市内各事業所の協力も得ながら、プラスチックごみの発生抑制や生ごみの堆肥化などを進めてほしい。

◆移住支援金

本市の人口減少に歯止めをかける政策として有効と思われることから、引き続き事業を推進してほしい。

議会研修会・全員協議会を開催しました

研修会で
業務継続計画（BCP）を学ぶ



1月18日に議会研修会を行いました。

議会研修会は、議員の監視能力及び政策形成能力の向上を目的として、毎年行っています。

毎年行っています。

コロナ禍で令和2、3年度は開催を見送りましたが、令和4年度は、古賀市議会から議会運営委員会委員長の奴間健司氏を講師に招き、「古賀市議会の議会改革の歩み～BCPをめぐる最近の取組～」をテーマに学びました。

業務継続計画（BCP）とは、大規模災害などの緊急事態が起きた場合でも、業務（行政サービス等）を継続するため、対応方針等を定めた計画のことで、古賀市議会は平成29年に業務継続計画を策定されています。

全員協議会で、アクション
プログラム（改訂案）を議論



2月8日に全員協議会を開きました。

全員協議会とは、市政全般に関わる政策等についての協議を行うため、開

かれる会議です。

①大牟田市第6次総合計画アクションプログラム（改訂案）について、②大牟田市排水対策基本計画についての説明を受け、議論を交わしました。

アクションプログラムに関しては、新規事業や拡充事業のほか、病児・病後児保育事業など既存の事業に関する質疑質問が行われました。

排水対策基本計画に関しては、「計画が実際に生かせるように、市民との情報共有を丁寧に進めてほしい」などの意見・要望がありました。

ぎかいの話題

議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました

前号(2月1日発行)でお知らせしておりました市長への意見・要望(議会報告会の議論をまとめたもの)に対して、次のとおり市長から回答がありました。

関連する記事は
こちらで見れます



各校区の地域コミュニティ

～コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティづくり～

【意見・要望】

コロナ禍における地域行事等の実施判断の基準を市が示してほしい。また、市による無料検査場の設置等の感染リスク軽減策を推進してほしい。(要約)

【回答】

コロナ禍におけるイベント等の取扱いは、法律に基づき、県から、イベント開催時の必要な感染防止策等が示されており、本市ではこれらを分かりやすく整理し、公式ホームページへ掲載して周知を図っている。地域の行事等も、これらに沿った対応をお願いしたいが、感染拡大の状況により感染防止策も変更する必要があるため、行事等の実施前には最新情報を必ず確認していただきたい。

また、新型コロナウイルス感染対策として、無症状者を対象とした無料検査は、県が実施している(令和5年5月7日終了予定)。県内に住んでいて感染に不安を感じている無症状者であれば、検査を受けることが可能。検査場所は、県のホームページから検索ができる。

市として、このような制度を広く情報発信し、コロナ禍における地域活動を支援していく。

市内の高校・高専・大学の学生

～専門性・技術力を生かしたまちづくり～

【意見・要望】

市内の高等学校や高専、大学が持つ知識・経験・能力を生かす観点から、市・地域・学校・企業とが連携・交流し、市民の健康づくりやまちのにぎわいづくりを進めてほしい。

【回答】

高等教育機関等と意見交換し、ニーズの把握を行い、地域企業と高等教育機関等とのマッチングの支援や、高校生が習得した技術などを広く発表できる場づくりの支援など、学生の皆様がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めていきたい。

今後も産学官連携の推進や学生等のまちづくりへの参加促進に取り組んでいく。

《学生と市が連携した近年の主な取組》

- 「よかば～い体操」の動画作成・指導者養成講座の講師派遣
- 「まちなかシリコンバレープロジェクト」の推進
- 総合発表会「青春祭」の企画・運営
- 「大牟田わかもの会議」の開催

行政視察受入実績

行政視察受入(1月～3月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
1	11	兵庫県	尼崎市議会	大牟田市リサイクルプラザ 大牟田・荒尾 RDF センター
1	23	徳島県	鳴門市議会	ありあけ圏域電子図書館
1	25	山口県	山口市議会	きれいで豊かな海の確保に 向けた下水道の取組
2	2	滋賀県	長浜市議会	空家等対策

■スマートフォン、タブレットでも
議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

パソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレット等からも視聴できます。

どうぞご利用ください。

大牟田市議会インターネット議会中継



本会議運営のあらまし

**令和5年度大牟田市一般
会計予算など可決**

2月・3月議会

令和4年度2月・3月議会は、2月24日に招集され、3月24日までの29日間の会期で運営しました。

審議した議案等は、令和4年度の各会計の補正予算等議案11件、令和5年度当初予算議案7件、個人情報の保護に関する法律施行条例の制定などの条例議案7件、教育委員会委員の任命等の議案4件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問2件、ワンヘルスの推進やLPガス料金値上がりによる負担軽減に関する請願2件、

大牟田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について等の発議7件、大牟田市土地開発公社の事業計画に関する報告等3件の計43件でした。

本会議では、新年度予算案について、災害に強いまちづくり、地域公共交通対策、学童保育所の整備などの諸課題に9人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告、請願の19件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議2件を除き可決、同意、採択、異議なき旨を答申して本会議を閉会しました。

議会日誌(1月～3月)

- 【1月】** 13日 広報広聴委員会広報部会
18日 議会研修会、都市環境経済委員会
23日 各派代表者会、議会運営委員会
- 【2月】** 1日 各派代表者会
8日 全員協議会
17日 各派代表者会、議会運営委員会
21日 総務委員会
22日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
24日 広報広聴委員会広聴部会、本会議〔開会〕
政策等調整委員会、広報広聴委員会広報部会
- 【3月】** 3日 本会議〔質疑質問〕
6日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
7日 本会議〔質疑質問〕
8日 本会議〔質疑質問〕、予算特別委員会、
広報広聴委員会広聴部会
9日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
13日 各派代表者会、議会運営委員会
本会議〔補正関係議案採決〕、予算特別委員会
14日 予算特別委員会
15日 予算特別委員会
16日 予算特別委員会
17日 予算特別委員会
20日 予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会
24日 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会
本会議〔新年度関係議案採決〕
広報広聴委員会広聴部会
27日 都市環境経済委員会

委員会メモ

**市税納付の
利便性向上について**

【総務委員会】

2月21日の委員会で、令和5年4月から発行する市税(市県民税【普通徴収】、固定資産税・都市計画税、軽自動車税【種別割】)の納付書にQRコード等を印字することで、全国の金融機関、スマホアプリ、クレジットカード、ネットバンキング等による納付方法の拡大を行う旨の説明を受けました。

これを受け、システム改修等の予算について質疑を交わしました。

**公共施設予約システムの
運用開始について**

【市民教育厚生委員会】

2月22日の委員会で、市民サービスの向上、公共施設の利用促進等を図ることを目的に、クラウド方式による公共施設予約システムの運用を開始する旨の説明を受けました。

利用可能な施設は、各地区公民館、えるる、リフレッシュおおむた(体育館)及び体育施設(市民体育館等)で、空き状況の確認、事前予約等をパソコンやスマートフォンで行うことができます。

**グリーン成長事業費
補助について**

【都市環境経済委員会】

2月22日の委員会で、市内中小企業者等の脱炭素化と持続的な成長及び競争力強化を促進するため、幅広い業種を対象に省エネルギー設備等の導入経費の一部を補助する旨の説明を受けました。

既存設備と比較して、CO₂排出量削減効果が認められることが補助要件となります。

議案等の審議結果

議案等名	議員名	自民・未来クラブ										公明党議員団				民主・護憲クラブ				無所属			賛成数	審議結果			
		徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂(議長)	森遼	森竜子	山口雅夫	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝			北岡あや	崎山恵子	山田貴正
発議第26号	防衛予算の倍増を決定した政府方針の撤回を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第27号	拙速な議論による憲法への緊急事態条項の新設に反対する意見書案	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
議案第68号	令和4年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案第79号	令和5年度大牟田市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第80号	令和5年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第81号	令和5年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第82号	令和5年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
議案第86号	大牟田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
発議第25号	大牟田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決

* 議案第68号については、境公司議員は病欠欠席。

■ 大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で可決、同意、採択、異議なし。

* 議案第69号～同第78号、同第93号～同第96号、諮問第1号～第2号については、境公司議員は病欠欠席。

議案第69号	令和4年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第70号	令和4年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第71号	令和4年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第72号	令和4年度大牟田市病院事業債管理特別会計補正予算
議案第73号	令和4年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第74号	令和4年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第75号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第76号	請負契約の一部変更について(大牟田市高泉市営住宅(3期)新築工事)
議案第77号	請負契約の一部変更について(大牟田市高泉市営住宅(3期)新築に伴う管設備工事)
議案第78号	請負契約の一部変更について(大牟田市高泉市営住宅(3期)新築に伴う電気設備工事)
議案第83号	令和5年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第84号	令和5年度大牟田市水道事業会計予算
議案第85号	令和5年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第87号	大牟田市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について
議案第88号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第89号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第90号	大牟田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
議案第91号	大牟田市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第92号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第93号	大牟田市教育委員会委員の任命について〔山本和夫氏〕
議案第94号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔竹本安伸氏〕
議案第95号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔宮崎詠理子氏〕
議案第96号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔堺和義氏〕
請願第2号	ワンヘルスの推進に関する請願
請願第3号	LPガス料金値上がりによる負担軽減に関する請願書
発議第28号	新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ患者の日常を守る取組の強化を求める意見書案
発議第29号	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書案
発議第30号	地域のグリーントランスフォーメーション(GX)の促進を求める意見書案
発議第31号	認知症の人もその家族も安心な社会の構築を求める意見書案
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について〔境元弘氏〕
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について〔村上義弘氏〕

インフォメーション

■ 次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができません。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで6月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

市長の政治姿勢 大牟田市の課題解決について



自民・未来クラブ
桑原 誠 議員

地域公共交通について

問 本市の公共交通に対する市長の認識と、策定中の大牟田市地域公共交通計画における地域公共交通の在り方や将来像についてお尋ねする。

答 本市の公共交通は、新幹線、鉄道、路線バス、高速船、タクシーなどがあり、鉄道と路線バスによる人口カバー率は約8割と、周辺市町と比べると高い状況。

一方で、自家用自動車への依存の高まりや人口減少、バス運転手の不足などに加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用者の減少により、鉄道や路線バスの減便が行われるなど、移動手段の維持・確保などに影響が出ている。

策定中の大牟田市地域公共交通計画においては、本市が目指す地域公共交通の将来像を、誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通サービスの構築としている。

この将来像の実現に向けた地域公共交通の在り方としては、本市の様々な公共交通手段が利用できる環境を生かし、

交通結節点や拠点となる地域をつなぐ交通ネットワークの確保を図り、将来に人口減少や高齢化が進展したとしても、地域で暮らす誰もが安心して移動でき、日常生活を維持することができるような公共交通サービスの構築を目指していきたい。

子育て世代に魅力的なまちづくり

問 子育て世代に魅力的なまちに向けた市長の考えは。

答 安心して子供を産み育てられる環境づくりが重要と考える。子育て世代をはじめとした市民の意見を十分に聞き、子供の健やかな成長と子育ての支援に関する施策の充実・強化を図っていきたい。

問 本市の子供医療費助成についての考えは。

答 大牟田市子ども医療費支給制度は、本市に住所を有する中学生までの子供が、福岡県内の医療機関を受診される際に、医療証の提示で、一定の自己負担額で受診ができる制度。本市における自己負担額は、0歳から3歳未満は通院・入院ともに無料、3歳から就学前までは、一つの医療機関ごとに通院ひと月800円、入院1日500円（月3,500円が限度）、小中学生は、一つの医療機関ごとに通院ひと月

1,200円、入院1日500円（月3,500円が限度）の自己負担。

県内各自治体の自己負担額は、福岡県から助成される額を基本として、各自治体が独自の助成を上乗せするなどして設定をしている。

本市では、中学生に対する市独自の自乗せ助成や所得制限の撤廃などにより、市民の負担軽減を図っている。

あわせて、国や県に対し、子供医療費の助成額の拡充を市長会を通じて要望している。

今後は、他市の動向を注視し、必要となる財源なども総合的に判断し検討する。

問 本市で子供医療費を中学生まで無償化した場合の市の負担についてお尋ねしたい。

答 現在市の子供医療費の予算は、令和5年度で約2億8,600万円となっており、中学生まで無償化した場合、さらに6,000万円から8,000万円ほど市の負担が増えることが見込まれる。

再発言 令和4年度の国の出生数は、速報値で前年比5.1%減の79万9,728人となっており、統計開始以来、初の80万人割れ。予算的には厳しいと思うが、少子化対策の実施・充実に向けてぜひ検討を。



代表質問

物価高から暮らしを守り、小さな声に寄り添うまちづくり

物価高騰などへの
対策強化を

問 物価高騰などの事態が続いた場合、市として支援策などを行う考えはあるか。市長の見解は。

答 引き続き、物価高騰等による市民生活や事業活動への影響、あるいは国や県の対策などに注視しながら、必要な支援を検討したい。

再発言 今後公明党は政府に対して、LPガス料金の負担軽減対策などについての具体案を出す予定となっている。

国において何らかの支援が決定された場合、市としても速やかに取り組み、市民に対して周知徹底をしてほしい。

書かない窓口・行かない
窓口の推進を

問 書かない窓口とは、住民が申請書を記入することなく、交付を受けることができるワンストップ窓口だが、書かない窓口、行かない窓口に対する市長の見解は。

答 デジタル技術を活用した行政サービス向上の取組であり、市民の利便性の向上に大

きく寄与するものと認識している。

本市でも、昨年度策定した市民部窓口業務改革において、市民に優しいスマート窓口を将来の姿としており、デジタル技術を活用して手続を簡略化し、市民が来庁しなくても手続ができる環境整備に取り組む。

フレイル予防の推進を



問 フレイルとは、日本老年医学会が提唱した用語で、加齢に伴う予備能力の低下に伴い、ストレスに対する回復力が低下した状態を表すもの。

本市におけるフレイル予防の現状と課題は。

答 まちづくり市民アンケートでは、フレイルという言葉に対する市民の認知度は、3割程度にとどまっている。フレイルへの理解を進め、予防のための3要素（運動、栄養、社会参加）に自ら取り組むための促しが必要と考える。

本年度は、新たにホームペ

ージや広報おおむたで、フレイル予防の3要素の実践を促すための周知を行うとともに、大型商業施設でのフレイル予防測定会などで、予防の推進に取り組んでいる。今後も高齢者が元気で様々な活動を行うことができるよう、フレイル予防活動を促進したい。

不登校対策として
スクールソーシャル
ワーカーの充実を

問 本市のスクールソーシャルワーカーの活動成果と課題は。

答 スクールソーシャルワーカーの活用により、不登校の要因の把握、教職員の対応方法などの助言をケースごとに受けることで、学校では具体的な対応が図られている。

また、福祉機関との連携が進み、多様な側面から不登校児童生徒の環境要因へ働きかけることで、学校への復帰につながるケースも増加している。

小中一貫教育制度のモデル事業を実施している宮原中学校区では、専任のスクールソーシャルワーカーの配置により、小中学校間において密接に情報共有が図られたことで、不登校の未然防止、早期発見及び早期対応が可能となり、学校への復帰が増加し、不登校率が減少している。

このようなことから、問題が深刻化する前に、積極的にスクールソーシャルワーカーが関わる体制づくりが必要だと考えている。

地域公共交通の確保



市長の政治姿勢について

問 財政計画の見通しは。

答 令和9年度以降、過疎債を活用できないため、公債費負担が増加する可能性がある。

問 県から病児・病後児保育利用者への補助が行われる予定であり、利用者の増加が見込まれるが、今後の対応は。

答 県の補助事業の推移を見て、事業者との協議を行う。

問 マスク着用基準の見直しに対する市の考えは。

答 マスク着用が効果的な場面と適切な利用について、理解を求めていく。

問 学生が実行委員として参加した「夢の花咲く青春祭」の感想は。

答 学生やシニア、企業・団体などの熱い想いの詰まったものとなった。

再発言 素晴らしい青春祭となった。令和5年度以降も継続して開催してほしい。

問 校区まちづくり協議会への加入率増加に向けた具体的な考えと方針は。

答 課題等の調査研究を基に取組を明確化し、他部局と連

携しながら、具体的施策に取り組みたい。

問 スポーツ環境の整備充実に向けた本市の考えは。

答 スポーツ推進計画に掲げる事業をソ

フト・ハード両面から実効性あるものとなるよう取り組む。

大牟田市排水対策基本計画について

問 計画の市民への説明は。

答 各地域で丁寧に行う。

問 計画の弱点箇所として抽出されていない地区の対応は。

答 年次計画で順次対応する。新たな対応が必要となった場合、実現性を総合評価し、追加対策を検討する。

地域公共交通について

問 市内の公共交通事業者の現状は。

答 令和3年度のアンケート結果や市内の移動量分析から、厳しい状況がうかがえる。

問 新たな交通手段の構築に向けた実証実験の内容は。

答 新大牟田駅と中心市街地を結ぶ実証実験において、乗降場所を増やし利用者増を図る。また、地域の声を聞き、生活交通の確保に取り組む。

問 福岡空港への高速バス再開についての要望はないか。

答 多くの声があるため、事業者と相談している。

問 福岡県交通ビジョンでは、本市、みやま市、柳川市の地域連携が示されているが、本市の地域連携への考えは。

答 3市と荒尾市、南関町を含む広域で、地域間移動に関する事業、情報交換や事業者への要望活動等の連携を図る。

問 令和5年度予算案で、路線バス運行補助が750万円増額されているが、内容は。

答 新たに吉野線の57番系統への補助を行う。

再発言 市内のにぎわい創出のため、バス停までの移動など総合的な移動方法の確保を検討してほしい。



問 利用者から不便との声があるJR九州のダイヤ改正に対し、近隣5市町で要望した際の事業者の回答や反応は。

答 公共交通ネットワークの維持は最大の責務だが、利用者がコロナ禍前の9割程度しか戻らないことが想定され、すぐに改正前に戻すことは困難であり、利用状況を分析し改善したいとの回答を受けた。引き続き要望活動を続けたい。

再発言 JR銀水駅のトイレの改修など、利用しやすい、地域の核となる駅となることを地域は要望している。改修も含めて検討してほしい。

一般質問

病児・病後児保育は
増設など対応充実を

問 病児・病後児保育は働きながら子育てをする保護者にとって大きな支えとなるが、委託箇所を増やす考えは。

答 今後の登録者や利用人数の推移、利用実態の分析を行い、必要性を検討したい。

再発言 安心して子供を育てられる受皿を整備するのは行政の役割の一つ。増設や公設などを含め、前向きで具体的な検討を要望する。

延命公園エリア
今後の活かし方

問 動物園整備基本計画では飲食・休憩スペースが狭くなるが、市の考えは。

答 来年度の設計の中でス

ースの確保を検討し、今後整備される延命配水池周辺の公園の活用など回遊性の向上により通路等の整備を検討する。

問 延命公園エリアを活かすには、体育館・動物園・緑ある公園など、それぞれの魅力を活かし、課題をカバーしながら相乗効果を図る必要があるが、市長の見解は。

答 全体の魅力の一体的な発信により、相乗効果を生み、回遊してもらう取組が必要。関係部局が連携しながら、私が先頭に立って取り組む。



脱炭素社会の見解と推進

問 本市の脱炭素社会の実現についての見解は。

答 地球温暖化対策を進めていくことは世界共通の喫緊の

課題であり、経済と環境の両立を図りながら取組を進め、脱炭素社会の実現を目指すことは重要と考えている。

問 本市の温暖化対策の今後の取組は。

答 令和5年度は、温室効果ガスの削減及び市民意識の向上を図るため、省エネ家電買替え促進キャンペーンとして、省エネ効果の高い家電製品への買替え費用の一部を補助するとともに、省エネ読本を作成し、全世帯への配布を考えている。

問 省エネ家電買替えの一部補助について、具体的に伺いたい。

答 本市に住民登録があり、登録住所に居住する方で、対象の電化製品（冷蔵庫、エアコン、テレビ、温水機器等）のうち、省エネ性能マークの色が緑色の省エネ効果の高い商品に買い替えた方を対象として、1世帯5万円を限度とした補助を考えている。

問 本施策の予算規模は。

答 予算規模は1,000世帯分5,000万円を予定している。

まちづくりの指標に
幸福度を

問 住民の幸福度としてのウェルビーイングを指標として取り入れている自治体が増えているが、本市の見解は。

答 ウェルビーイングの観点を踏まえ、総合計画に掲げる事業に取り組み、満足度の向上、幸福の実現につなげる。

寒波による断水への対応

問 本年1月の寒波において、7年前の断水の経験はどのように生かされたか。

答 寒波マニュアルを大幅に見直したことに加え、市民による水道管の防寒対策や減圧給水への御協力により、断水処置を行わず収束できた。

問 今回の寒波による漏水分の水道料金は減免されるか。

答 漏水により増加したと推定される水道料金と下水道使用料の特別減免を行う。

狭あい道路の
解消にむけた取組を

問 狭あい道路に面した土地の寄附に対する狭あい道路整備等促進事業とは。

答 セットバック分の土地を市に寄附した際、測量等の費用に対する補助と所有権移転手続きを市で行うもの。

一般質問



中学校における部活動の地域移行への現状

問 令和5年度から実施される部活動指導員活用に当たり、現在の取組状況を聞きたい。
答 本市においては、国や県

の方針を踏まえ、学校における部活動の指導体制の充実及び教職員の負担軽減を図るため、令和5年度から休日の部活動指導員を配置することとしている。具体的には、中学校が要望する競技等の指導員を各校3名ずつ派遣するもので、指導員として元教員や地域でスポーツや文化活動に携わっている方等を想定しており、研修も実施する。

空き家等の利活用の促進

問 空き家の利活用を促進するための、新たなマッチング事業について聞きたい。

答 空き家の活用希望者が、そこで実施したい事業をPRし、その趣旨に賛同する空き家所有者を募集する事業。

他都市では、こうした事業により空き家がカフェなどに生まれ変わった事例もあり、この事業を通じて空き家の利活用を促進していきたい。

再発言 家財道具の処分等の補助があればマッチングが進むのでは。検討をお願いする。



新たなハザードマップ

問 令和5年度に策定予定のハザードマップの内容は。
答 福岡県による土砂災害警戒区域の追加指定や大牟田川

及び隈川の洪水浸水想定区域の指定を踏まえて、一部区域を修正する予定。加えて、想定し得る最大規模の降雨シミュレーションを行い、新たに内水浸水想定区域図を作成することで、計5種類のハザードマップを作成する。

また、令和6年の出水期前までに全世帯に配布する予定。

こども若者議会

問 未来を託す子供や若者が意見を表明し、まちづくりな

どの政策に反映される仕組みである「こども若者議会」設置への、市長の見解は。

答 子供や若者の意見を聞き、施策の推進を図っているが、充実させる必要がある。

若者会議等では、意見を述べるだけでなく、自ら実現していこうという頼もしい若者が活躍している。

そのことを踏まえ、他都市の例も勉強し、今後どういう形で子供や若者に、さらにまちづくりに参加してもらうことができるか検討したい。



介護保険料の引下げを

問 本市の介護保険料の基準額は、現在、年額74,640円、月額6,220円だが、年金から引かれるため生活できないとの

声が多数ある。利用料を払えずサービスを利用できないという本末転倒の事態も。高齢者の生活実態を見て保険料を引き下げるべきと考えるが。

答 第1号被保険者の保険料は、介護保険財政の安定を図る観点から、3年間の期間で均衡を保つように定められており、給付費の見込みを基に必要となる保険料を算定する。これらを見極め、次期保険料を検討していきたい。

問 介護給付費準備基金の見込みは。

答 4年度末で12億3,431万6,000円の残高になる見込み。

問 基金を取り崩し、介護保険料を引き下げてはどうか。

答 第9期の介護保険事業計画において、国の介護報酬改定内容等も反映しながら介護保険料を試算した上で、準備基金の取り崩しの必要性を検討していきたい。

再発言 財政の安定を維持するために、市民生活が壊れてしまっては元も子もない。

市民生活の実態に耐え得る保険料の算定を。

新任 地域おこし協力隊の紹介

今回は、1月に新しく就任された「地域おこし協力隊」の方にインタビューをさせていただきました。

これまでどこに住んでいたのですか？ どんなお仕事をされていたのですか？

学生時代は大学があった、みやま市に4年間住んでいました。卒業後は熊本県熊本市・岡山県倉敷市にそれぞれ2年間住んでいました。大牟田市に来る前は岡山県倉敷市に住んでいました。これまでに、事務職や映像制作を経験してきました。



兒玉さんが撮影した
臥龍梅(上)と
三池港の「光の航路」(右)



どうして大牟田を選んだのですか？

大学時代、みやま市に住んでいて大牟田市に何度か足を運んだことがあったので、大牟田市についてはその時から知っていました。その縁もあって大牟田市にやってきました。

地域おこし協力隊として どんなお仕事を担っているのですか？

- 市の観光ポータルサイトの運用
- SNS (Instagram・Twitterなど) での情報発信
- 体験プログラム、イベントの企画・実施



1月から大牟田市の
地域おこし協力隊として
活動しています

こ だま りょう

兒玉 亮です

宮崎県都城市出身の26歳です

大牟田市の好きなところを 教えてください

- グルメや飲食店が多く、楽しみが尽きないところ（ぜひいろんなお店に行ってみたいです）
- とても住みやすい街であること
- 地元の都城市に街の雰囲気似ていること

これからどんなことをしていきたいですか？

多くの方々と関わっていきたくので、色々なイベントやお祭りなどに参加してみたいです。大牟田のことをいろんな人に知ってもらえるように、大牟田への移住者の1人として魅力やおすそめを発信できればと考えています。大牟田のことをもっと好きになれるように、今後とも頑張っていきたいと思っています。

兒玉さんが運用している
新しい市の観光ポータルサイト



おおむたOne plate(ワンプレート)
<https://one-plate.city.omuta.lg.jp/>

最後に大牟田市のみなさんに メッセージをどうぞ

カメラ片手に大牟田の良いところを見つけに散策していますので、もしお見かけの際はお声かけいただけると嬉しいです。

大牟田の情報満載！
ぜひフォローしてください！



編集後記

統一地方選挙も終わり、新しい市議会議員の23名が決まりました。住みよい大牟田市を目指して、市当局とのさらなる連携強化を図りながら、子供から高齢者まで住みよさを感じられるように、市議会として本市の発展に全力で取り組んでいきます。(S. H)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】徳永春男 【副委員長】平嶋慶二

【委員】境公司 塩塚敏郎 平山伸二 山田貴正

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所